京都府立南陽高等学校（京都府版小中学校連携CAN-DOリストを踏まえて）

<table>
<tr><td rowspan="2">卒業時に身につけさせたい英語力</td><td colspan="5">外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を持ち、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="5">（1）外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
（2）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。
（3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。</td></tr>
<tr><td></td><td>聞くこと(Listening)</td><td>読むこと(Reading)</td><td colspan="2">話すこと(Speaking)</td><td rowspan="2">書くこと(Writing)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高３</td><td rowspan="2">①　授業中の英語での指示を理解することができる。
②　授業中の教師やクラスメイトが話す英語でのやりとりを、ほぼ理解することができる。
③　音声聞きで流された比較的自然な速さで話された会話や説明・スピーチなどの重要な点や場面・状況を詳細に理解することできる。</td><td rowspan="2">①　知らない単語があっても、前後の内容から、意味や品詞を推測することができる。
②　語句のヒントなどの助けがあれば、教科書で扱われる社会的な話題であっても、内容を理解することができる。</td><td>やり取り(Interaction)</td><td>発表(Production)</td></tr>
<tr><td>①　ペアやグループ内でのやりとりで、相手の発言に即興で応答することができる。
②　ペアやグループ内でのやりとりで、分からない時などに聞き直すことができる。
③　ペアやグループ内でのやりとりで、明確な理由や根拠、自分の意見を詳しく述べることができる。</td><td>①　社会的な話題で、情報や考え、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝えることができる。
②　多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見を述べることができる。
③　発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。</td><td>①　教科書等で扱われる世界の現状と課題についての社会的な話題について、段落構成に注意しながら、意見や感想を書くことができる。
②　自分の意見を、明確な理由や例などと共に、複数の段落を用いて一貫性のある文章で詳しく書くことができる。
③　基本的な文法に注意しながら、英文を書くことができる。
④　同じ単語を繰り返し使わずに、多様な語彙を使用して文章を書くことができる。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">パフォーマンス課題のトピックの例：
コミュニケーション英語Ⅲ：血液型と性格の関係性について自分の考えを述べる（日常的）/　ベニクラゲの不死性を人間にも応用すべきか自分の意見を言う（社会的）
英語表現Ⅱ：自然災害への備え（日常的）/　住みよいまちづくりコンテスト（社会的）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高２</td><td rowspan="2">①　授業中の英語での指示を理解することができる。
②　ペアや少人数において、クラスメイトの英語での発言を理解することができる。
③　音声機器等で流された会話や説明・スピーチなどの重要な点や場面・状況を、ほぼ理解することができる。</td><td rowspan="2">①　知らない単語があっても、文脈から意味を推測しながら、本文の概要・要点を理解することができる。
② 一部の語彙を確認すれば、文章を読んで、すぐに大まかな内容や筆者の意図を理解することができる。</td><td rowspan="2">①　ペアやグループ内でのやりとりで、相手の発言に即興で応答することができる。
②　ペアやグループ内でのやりとりで、分からない時などに聞き直すことができる。
③　ペアやグループ内でのやりとりで、適切な理由や根拠、自分の意見を詳しく述べることができる。</td><td rowspan="2">①　日常的な話題で、キーワードをつなげ、リテリングすることができる。
②　自分の意見を適切な理由とともに述べることができる。
③　発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。</td><td rowspan="2">①　教科書等で扱われる日本の現状と課題についての社会的な話題について、意見や感想を書くことができる。
②　スピーチに向けて自分の意見を、適切な理由や例などと共に３段落以上の文章で書くことができる。
③　時制や文型などの基礎的な文法に注意しながら、英文を書くことができる。
④　同じ単語を繰り返し使わずに、多様な語彙を使用して文章を書くことができる。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">パフォーマンス課題のトピックの例：
英語コミュニケーションⅡ：自分が好きな日本文化について、わかりやすく伝える（日常的）/　ロボットとの共生について自分の意見を言う（社会的）
論理・表現Ⅱ：宝くじが当たったら何をするか（日常的）/　地球温暖化対策（社会的）/　スピーチライティング</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高１</td><td rowspan="2">①　ゆっくり、繰り返し述べられれば、授業中の英語での指示を理解することができる。
②　ペアワークで、なじみのあるトピックであれば、クラスメイトの英語での発言を理解することができる。
③　音声機器等で流された会話や説明・スピーチの重要な点や場面・状況を大まかに理解することできる。</td><td rowspan="2">① 知らない単語があっても、文脈から意味を推測しながら、本文の概要・要点を理解することができる。
②　文章の内容についての概要やあらすじなどの質問に答えることができる。</td><td rowspan="2">①　ペアや教師とのやりとりで、相手の発言に即興で応答することができる。
②　ペアや教師とのやりとりで、分からない時に聞き直すことができる。
③　ペアや教師とのやりとりで、自分の意見を述べることができる。</td><td rowspan="2">①　日常的な話題で、キーワードをつなげ、リテリングすることができる。
②　日常的、身の回りのことについて短い簡単な説明をすることができる。
③　発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。</td><td rowspan="2">①　教科書等で扱われる話題について、意見や感想を書くことができる。
②　自分の意見を、理由や例などと共に、文章で書くことができる。
③　基本的な文法に注意しながら、英文を書くことができる。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">パフォーマンス課題のトピックの例：
英語コミュニケーションⅠ：有名人について情報を整理し、わかりやすく伝える（日常的）/　恐竜再生について自分の意見を言う（社会的）
論理・表現Ⅰ：制服の是非（日常的）</td></tr>
</table>